

氏名	岸本涼
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 4688 号
学位授与の日付	平成25年 3月25日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)

学位論文題目	The clinical impact of pathological review on selection the treatment modality for localized prostate cancer in candidates for brachytherapy monotherapy (限局性前立腺癌治療における泌尿器病理医による組織学的再評価の有用性についての検討)
--------	--

論文審査委員	教授 松川 昭博 教授 吉野 正 准教授 貞森 裕
--------	---------------------------

### 学位論文内容の要旨

他施設で前立腺生検を受け永久留置型前立腺密封小線源療法(PPB)目的に紹介となった患者の病理組織について、当院の泌尿器専門病理医の再評価が治療に与える効果と有効性について検討した。

対象は他院で前立腺癌と診断され、当科に PPB 目的に紹介となった限局性前立腺癌患者 247 名。他院で施行された全ての前立腺生検スライドは当院の泌尿器専門病理医が再評価を行い、再評価の結果に基づいて治療方針を決定した。

247 名中 100 名(40.5%)の患者で病理学的診断が変更された。6 名は悪性所見なしとされた。Gleason Score(GS)の変更は 94 名(38.1%)で行われ、うち 77 名(81.9%)で GS を高く、(18.1%)で GS を低く訂正された。最終的に 5 名が病理学的再評価にて PPB 適応外から適応内へ変更され実際に PPB を施行された。逆に 25 名が適応内から適応外へ変更され、他の治療法を選択された。

今回の検討では 10%の患者が病理学的再評価にて治療方針を変更された。今回の検討では前立腺生検組織の病理学的再評価は治療方針決定において必須であることを示した。

### 論文審査結果の要旨

本研究は、他施設で前立腺生検を受け永久留置型前立腺密封小線源療法 (PPB) 目的に岡山大学病院に紹介となった 247 例の患者の病理組織について、泌尿器専門医の再評価が治療に与える効果と有効性について検討したものである。100 名 (40.5%) で病理学的診断が変更され、6 名は悪性所見なしとされた。Gleason スコアは 94 名 (38.1%) で行われ、うち 77 名 (81.9%) でスコアを高く、17 名 (18.1%) で低く訂正された。5 名が PPB 適応外から適応内へ変更となり、25 名が適応内から適応外へ変更となった。単に病理組織学的リポートの集計による報告であり、治療後の臨床的な評価はいっさいなく今後の臨床的な意義の確認が必要との指摘があったが、前立腺生検組織の病理学的再評価が治療方針決定に重要であることを示した点は評価できる。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。